

# 令和5年度事業報告

## 1、総括的事項

令和元年末から3年に及んだコロナ禍は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが5類感染症に移行されました。社会経済活動の正常化が進み、国内景気はゆるやかな回復基調を取り戻し企業の業況や収益の改善は続いています。必らずしも賃金上昇や投資等につながっておらず内需は力強さを欠いています。

一方、個人消費は持ち直してはいますが、賃金の上昇が物価上昇を下回っていることから実質では減少傾向が続いており、個人消費の持続的な回復には、賃上げによる可処分所得の継続的な増加が必要とされています。

令和5年度は会員の拡大と新たな就業先の開拓活動を核として、役職員一体で普及啓発のためのPR活動、就業機会の提供と確保に務めました。人口減少、高齢化の進展等の影響もあり会員数及び事業実績とも前年度を下回り大変厳しい結果となりました。

このような中ではありますが、高齢者に就業の場を提供し様々な社会活動への参加を促すことにより地域の発展に寄与するため、引き続き積極的に会員の拡大と新たな就業先の開拓活動に取り組んでまいります。

## 2、個別事項

### (1) 会員の拡大

会員の拡大については、今年度も引き続き大型量販店でのパンフレット・チラシの配布、新聞折込みによるPRを実施するとともに、萩市及び阿武町の広報誌に会員募集の広告を掲載しました。また、浜崎おたから伝建博物館、萩ふるさとまつり、須佐地域ふるさとまつり、手作り市場の各種イベントに参加したほか、ボランティア活動を実施し普及啓発を行いました。

入会説明会は、毎月1回定期的に開催するとともに必要に応じて随時の入会説明会を開催し入会促進に努めました。山口県シルバー人材センター連合会が行う「会員紹介報奨制度」を活用し、今年度は9名の入会がありました。今後も会員のロコミ活動などによる「会員1人1会員獲得運動」の取り組みを推進し、更なる会員拡大に努めます。

### (2) 事業実績

請負・委任による受注件数は2,321件で、前年度に比べ358件減少し、契約金額は1億8,694万8,169円で前年度に比べ1,015万6,859円の減額となりました。

主な職種別の実績では、建物管理（阿武町役場施設管理）が7,898万4,166円で94万1,552円の増額、スポーツ施設管理（阿武町教育委員会プール管理、むつみ海洋センタープール管理他）が277万1,474円で35万6,866円の増額、剪定作業が716万2,408円で366万9,800円の減額、水道検針作業（須佐水道検針契約無し）が173万1,378円で43万719円の減額、屋外清掃作業が690万2,208円で29万1,391円の減額、草取り作業が328万8,963円で392万1,867円の減額、草刈り作業が3,543万6,884円で121万3,734円の減額、農林水産作業（農作業、伐採等）が41万3,745円で116万2,546円の減額になりました。

一方、契約金額の事務所別の内訳では、対前年比で 萩事務所94.0%、阿武出張所98.8%、むつみ出張所84.3%、須佐出張所105.1%、田万川出張所96.3%となり萩広域全体で94.8%となりました。

派遣事業は、23件で54人の会員を派遣し、契約金額は4,317万8,739円で、前年度に比べ461万2,880円の減額になりました。

この結果、請負・委任事業と派遣事業の合計は2億3,012万6,908円で、前年度に比べ1,476万9,739円の減額になりました。

### （3） 就業機会の開拓・拡大

シルバー人材センターの事業拡大のため、広く市民の方々に理解と協力を得られるよう普及啓発を推進するとともに、会員就業の実態及び意欲や希望を考慮しながら、就業機会の開拓・拡大を図りました。特に普及啓発については、市・町広報紙へ掲載、パンフレット・チラシの配布や会員のボランティア活動を通じて、地域の皆さんにシルバー人材センター事業の理念や意義、仕組みを理解して頂くとともに、シルバー人材センター知名度を高めるよう努めました。

### （4） 安全就業の推進

「安全は無理せず 焦らず 油断せず」全国統一安全就業スローガンのもと、会員の安全就業を確保し、安心安全に就業できるよう取り組みました。

本年度は、当センターの安全パトロールとは別に、10月に当センターにおいて県連合会主催の安全パトロールが開催され、剪定、草刈作業に対する安全就業の指導点検を行うとともに安全就業の周知徹底と意識の高揚を図りました。

また、派遣運転業務就業会員を対象とし、6月1日から9月27日の間、萩自動車学校で開催された交通安全定期診断を17名が受講し交通安全に対する意識の高揚に取り組みました。

(5) 適正就業の推進

適正就業・就業拡大委員会を開催し、会員に対し適正かつ公平な就業の機会を提供するために、継続就業会員の就業期間満了や就業制限年齢等「適正就業に関する運用基準」に基づき、公正な就業機会の提供に努めました。

(6) 研修会・講習会の開催

会員及び一般の方を対象とした講習会として、福祉家事援助委員会主催で、至誠館大学の出前講座を活用し「転倒予防トレーニング」を2月5日(月)に萩市総合福祉センター1階多目的ホールにおいて開催しました。

(7) 労働者派遣事業の推進

会員の多様な就業機会の拡大を図るため、企業や事業所において社員との混在就業や指揮命令下で就業可能な労働者派遣事業の推進に取り組み、新規受注の獲得を図りながら会員確保と就業機会の拡大に努めました。

シルバー派遣事業衛生委員会では、衛生委員会を3回開催するとともに、1月25日(木)萩市総合福祉センター2階交流室において健康講習会「緑内障について」を開催しました。

県連合会主催による派遣労働者教育訓練は、10月23日(月)萩市総合福祉センターにおいて開催されました。